

前回の委員意見に対する事務局の考え方等

○千葉県カーボンニュートラル推進方針

	意見（概要）	事務局の考え方
1	・木更津市がオーガニックを活用して持続可能な社会の実現を目指しており、市原市では SDGs の事業がスタートしています。他の市町村の参考になるのではないかと。 （桑波田委員）	市町村で行っている持続可能な社会の実現を目指した取組については、今後とも情報収集しながら、随時情報発信を検討していきます。
2	・脱炭素は、排出削減と吸収源の強化の両方を含んでいるので、吸収源対策の位置づけをもう少し見えるように示すと農地土壌炭素や森林管理、ブルーカーボンなどの自然を考えるきっかけになる。J-ブルークレジットも始まっており記載を検討してほしい。また、3 ページの図に吸収源を明示できるとわかりやすいのでは。 （佐々木部会長）	・水産業・海洋の脱炭素化の【現状と課題】に J-ブルークレジットについて追記します。 （追加内容） P18【現状と課題】 ブルーカーボンについては、CO₂吸収・固定量の計測方法の検討やクレジット制度（J-ブルークレジット）の試行がされています。